

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第3回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

自主的な審議（公開）

（1）自主的な審議の進め方について

（2）三郷区地域協議会との合同研修会の振り返り

3 開催日時

令和7年9月17日（水） 午後6時30分から午後7時36分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：秋山会長、横田副会長

阿部委員、泉委員、近藤（浩）委員、近藤（美）委員、角谷委員、
西片委員、西田委員、渡邊委員（欠席4人）

・ 大和地域を盛り上げる会：古川会長

・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

8 発言の内容

【石黒係長】

・ 齊藤委員、高橋委員、牧田委員、山岸委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【秋山会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：渡邊委員に依頼

― 次第２ 自主的な審議（１）令和８年度地域独自の予算事業の新規事業の提案団体との意見交換 ―

【秋山会長】

次第２ 自主的な審議（１）令和８年度地域独自の予算事業の新規事業の提案団体との意見交換に入る。

大和地域を盛り上げる会の代表の古川源光さんから出席いただいている。古川会長は、来年度の地域独自の予算事業を活用してイベントの開催を計画されており、本日はその計画についてお話しいただき、その後内容のさらなる充実に向けて委員の皆さんからも意見をいただきたいと思いますと思う。

【古川会長】

市の地域独自の予算事業を活用して、「エンジョイフェスタ」というイベントを上越妙高駅前で開催したいと考えている。上越妙高駅には人々が各地から訪れることから、そういう方々と地域の皆さん、地域の皆さん同士が楽しめる場所がないかと少し前から考えていた。前に町内でアンケートを取った際、駅前を盛り上げるイベントを何かしてもらいたい、簡単に言うと夏祭りを駅前でやればよいのではないかというという声があり、今回の提案に至った。

イベントは６月の週末２日間、東口の謙信公銅像前の広場で開催する。１日目は地元のクラフトビール会社、ガンギブリューイングの参画でビアガーデンと音楽演奏、２日目は各種ステージショーを予定している。ステージショーには地元の大和神社の神楽やバンド演奏をはじめ、おもてなし武将隊、空手の演武のほか、目玉として佐渡の鬼太鼓を招きたい。昨年、佐渡金山が世界文化遺産に登録されたこともあり、上越妙高駅を佐渡へ行く拠点として広くアピールしたいとも考えている。両日とも飲食コーナーを設け、飲食やパフォーマンスを楽しみながら交流する場としたい。

当初は8月の開催と思っていたが、例年の猛暑や8月は祭りが各地であることから、少し早めたらよいのではないかとということで6月の少し涼しい時期に一杯飲みながら、おいしいものを食べながら皆さんが楽しめるイベントにしたい。

地域の祭りというのも頭にあったので、大和神社にも話をもちかけた。大和神社では春と秋に神楽を毎年やっているが、平日なのでなかなか子どもたちも見ることがない。そこで、イベントに招いて地元の人にもほかの地域の人にも実際に見ていただく機会としたい。

概要は以上であるが、開催に向けて書面で「大和地域を盛り上げる会」を正式に立ち上げ、和田地区町内会長会の皆さんにこの計画を文書でお配りする予定である。賛同いただけない方もいるかと思うが、開催する際には和田区の全町内会から協力をいただき、全世帯にチラシを配布したいと考えている。

皆さんからもご協力、ご支援をいただければ大変ありがたい。

【秋山会長】

ただ今の説明について、質問や意見を求める。

【近藤（浩）委員】

ここまで計画を立てるのに大変労力を要したと思う。それに対してまず敬意をお伝えしたい。前に町内会の役員会で古川会長から提出された計画案を揉んでほしいということで見させてもらったが、その際、子どもみこしを町内でリレーしてつなぐという、スタートが大和神社、フィニッシュが上越妙高駅というのがあって、すごくよい案だと思った。今の説明には子どもみこしが入っていないがどうされたのか。

【古川会長】

それを大和地区としてやりたいという夢があったが、町内会の中でも日にちとか、子どもたちの予定、子ども会などのいろいろな問題があり、少し難しいという結論になった。各町内から参加していただくには役員も当然必要になる。強制もできないし、そんな力も持っていないし、そうまでしてやることはできないということで断念した。

しかし、大和地区、和田地区でもよいが、参加していただける子ども会があれば、

大和神社でみこしをお祓いしてもらってから上越妙高駅までみんなで担いで来てもらいたいと思っている。中学生も参加してもらいたい。それが無理であれば、みこしをリヤカー乗せて運ぶことも検討したい。

【近藤（浩）委員】

断念されたとおっしゃったが、決定ではないと理解した。

もう一つ、ステージショーの出演予定者の中で、空手の演武とはどういう意図か。

【古川会長】

これは地域を元気づけるためである。先日、新井の祭りを見たが、子どもたちのダンスが非常に躍動感があってカッコいいというか、エネルギーだった。昔から武道というものがある中で、型や演武を入れた。地域の盆踊りという案もあったが、盆踊りをやる人がいない。まずは賑やかなものと考えた。

【近藤（浩）委員】

新幹線沿線つながりで、例えば、糸魚川や飯山とかで積極的な団体はないか。

【古川会長】

分からない。もし、来年度に皆さんから賛同が得られたら、再来年度に検討したいと思う。来年度は一つのステップなので、これがもしよくなれば、次のステップとしてもっとよくしていきたい。まずは1回やってみて、その結果は後からついてくるかどうかだが、せっかく市からまちづくりの予算をいただくので、まずはそれを基にしてやってみようと思っている。

【西田委員】

とてもいい案で、上越妙高駅があまりにもパツとしないというのは常々思っていた。何かこの機会にと思っているが、これだけの企画を運営するにはスタッフの人数もかなり必要だと思う。何人くらい予定しているか。

【古川会長】

10人程度いればよいと思っている。自分の町内のほかに、ほかの町内でもし協力いただける方があれば大変助かる。

初日の子どもみこしは賛同された町内の保護者から誘導も兼ねて来てもらって、できるだけ駅の通路までやって盛り上げたい。1日目はクラフトビールをやってい

るメンバーの協力で最後の片付け等はその方をお願いできることになっている。

【西田委員】

和田区全体から10人の方をお願いするのか。

【古川会長】

私の町内の役員から協力してもらいながら、そのほかの役員があと5人くらいいるので最低10人。その中での役は、具体的にになったらその都度お願いしたいと思っている。かしこまった役にはしたくない。ただ、子どもみこしは安全第一ということで、その部分は特に気をつけていきたいと思っている。また、暑い時期なので、何かあったときのためにエアコン付きのプレハブと送風機を3台予算に入れてある。

【西田委員】

取組の目的のところで大和地区の住民の交流を促進し、地域活性化を図るということになっているが、和田区全体として考えたほうがよいのか、大和地区だけなのか。

【古川委員】

和田区全体が基本で、それがあつての上越妙高駅である。

【西田委員】

1日目だが、クラフトビールさんに来ていただいて音楽を楽しみながら交流すると言うが、1日も間がもたないのではないかと。

【古川会長】

上越妙高駅西口でドイツビールのイベントがあった時、この計画が頭があったので勉強がてらに行ってきた。いろいろな方がいた。ビールが好きな人も、こういうイベントが好きだという子ども連れの人もいた。電車で来ている人もいたと思う。それとは別に、地元のクラフトビールのイベントに30代の自分の子どもたちと参加した際、そういう雰囲気が好きなのかビールが好きなのかよく分からないが、見ていると子どもたちは雰囲気が好きなようである。私の年代だとそういう年齢層がいないので話す相手がいないし、時間を持て余して飲んで食べて帰ってくるくらいだが、会話のきっかけがあると話ができる部分があるのではないかと。どうしても人

見知りしたり、入りづらいなというのがあるが、そういう性格の人がたぶん多いと思うが、まず足を踏み込んでいただければわかると思う。年代の高い人も来ると思う。

【秋山会長】

間がもたないのではないかというのは、演奏などのことか。

【西田委員】

演奏もそうだし、ビール店が1軒だけだとちょっと寂しいかなと思った。先日のドイツビールのイベントも何件か来ていたので、そんなことで間がもたないのではないかと感じた。

【秋山会長】

1日目もキッチンカーがあるのか。

【古川会長】

1日目はキッチンカーも入れて、地元のクラフトビールのほかに生ビール、かき氷、たこ焼き、焼きそばなどもやる予定でいる。ビールのつまみ程度のものと考えている。2日目も同様にやりたい。

音楽についてはCDではなくて、地域で音楽活動をされている方をお願いしてライブ演奏を考えている。

【角谷委員】

本当に素晴らしい提案だと思う。1回目から完成形を目指さなくてもよいと思う。こういうのは回を重ねて、改善していけばよいと思うので、まずは着手することが大事だと思うし、こういう提案が出てきたというのは本当に素晴らしいと敬意を表したい。

質問が二つある。1点目、駅の利用にあたって許可はいるのか。

【古川会長】

市の道路課に行って申請方法を聞いてきた。そういう許可申請はやる予定である。

【角谷委員】

二つ目は、町内会長会には話してあるのか。

【古川会長】

和田地区町内会長会の会長に第1案を書面でお渡しした。大和地区の町内会長にも、こういうことをしたいので協力をお願いしたいということだけは話してある。

【角谷委員】

私の希望だが、新幹線つながりで能登の御陣乗太鼓も入れられないか。恐らく佐渡の鬼太鼓はプロかもしれないが、

【古川会長】

鬼太鼓はプロではない。

【角谷委員】

地震の復興のためにという理由づけもできるのではないか。

また、上越高校のダンス部が日本一になってすごく話題になっているので、そういう人たちが来れば人がドッと来る。

【古川会長】

紹介いただければ飛んでいく。

【角谷委員】

高校生の若い人たちのダンスもよいなと思った。

【古川会長】

ダンス教室があるので、小学生とか高校の部活にも声をかけてみたいと思う。

御陣乗太鼓は、上杉謙信が能登に攻め入った時に太鼓を打ち鳴らして追っ払ったというもので、戦というのは逆を例えてみればやはり地域を守りたいということ。ただ、佐渡に能登と、ちぐはぐになっても困るので目的はここを佐渡観光への拠点として知ってもらいたいということで絞った。

【秋山会長】

そのほかにいかがか。

和田区ではなかなか新しい事業の提案がなかったので、今回、提案していただいたことにまず感謝申し上げたい。

イベント内容について、町内会で大和神社の礼大祭の裏方をやった時に神楽を初めて見た。こんなに素晴らしいものを春と秋にやってらっしゃるとは全然知らなかった。キッチンカーやダンスというのは目にする機会が多くどこも賑わっているも

のだが、そういったものとは少し違う出し物で面白いと思った。ただ、人を呼ぶには確かにダンスというのは子どもも大人も見られる。今後検討を進める中でそれも考えていただければよいかと思った。

いろいろ細かく計画を立ててご苦労も多かったと思うがこれを第一歩として、来年成功してまた次につながっていくような活動になっていけばありがたい。地域協議会の委員も前向きに応援しながら、引き続き見守らせていただければと思っている。

以上で、次第２ 自主的な審議（１）令和８年度地域独自の予算事業の新規事業の提案団体との意見交換を終了する。

（古川会長退席）

― 次第２ 自主的な審議（２）三郷区地域協議会との合同研修会の振り返り ―

【秋山会長】

次第２ 自主的な審議（２）三郷区地域協議会との合同研修会の振り返りに入る。

７月１０日に三郷区地域協議会との合同研修会を行い、和田区から１１名、三郷区から１０名の委員から出席して、お互いの活動状況について情報交換を行った。開催から少し時間が経過したが、本日は合同研修会で得た活動のヒントや感想などを参加された委員から一言ずつお願いしたい。

【阿部委員】

すぐ隣の地域協議会の方々との交流はとても楽しかった。昨年から地域協議会委員になったが、どんな方々がどんな活動をしているのか今まで全然知らなかったが、今回話を聞いてこういうことなのだとわかった気がする。三郷区は和田区と違って意外と固まっているというか世帯数も少ない。地域独自の予算事業を活用した活動も盛んで、例えば、春駒という伝統芸能を一生懸命保存しようとする活動やバス停に花を飾る事業、こういう身近なことでよいのだということが分かり何とかやっていけるかなと思った。

【近藤（浩）委員】

三郷区の独自予算の事業には、例えば、高齢者支援の買い物ツアー、健康ウォークなどがあるが、私の町内では健康ウォークもあるし、地域の事業団体とタイアップしてクリーン作戦をやったり、和田区全体では二水会の買い物ツアーがある。なぜそれが地域独自の予算事業が活用されていないのか。個々ではやっているのに、予算もつくのにもったいないと思った。阿部委員の意見と同じだが、少し垣根を高く考えていたのかもしれない。もっと敷居を低くして、まずやってみなくてはというところ、我々は評論家ではいけないので、少し評論家的な部分もあるかもしれないが、まずそういう団体を見つけてどんどん後押ししていきたいと思った。

【西片委員】

一言で言うと、三郷の委員は若い。隣の方と話していたら、島田に友達がいるというので名前を聞いたら私の息子だった。うちの娘と同級生の委員もいて、三郷の委員は若い方が多いという印象を受けた。いろいろな意見も出るし、行動力もあるのかなということで、今、古川町内会長のお話があったが、こういったイベントも、もっと若い方が委員であれば、どんどん前にいくのかなと感じた。人選も考えていただければ、もっと活発な意見も出て会議につまることもないのかなと感じた。

【西田委員】

西片委員と同じく、若い委員が多ということはやはり活気もあるし、私たちの年代とは違う考え方をされるのかなと思った。次期は和田区も若返りを図っていただけたらと思う。

この前、板倉区で開催された地域フォーラムに行ってきた。講師を招いて空き家問題に関する講演があったので、ああいうものもよいなと思った。

【横田副会長】

しっかりとした団体が活動しているなという印象を強く受けた。規模が小さいからできるというのもあると思う。三郷小学校は今年で廃校ということでいろいろな記念行事に関しては、小学校の保護者全員がそれぞれ何かしらのイベントの委員になっているという。これも小さいからできるというのもあるかもしれないが、保護者も協力するというスタイルが根付いているというのがいろいろな面で感じられた。大和地区のほうはわからないので申し訳ないが、和田地区のほうは少し難しい

かなという部分もあったりして、活気というのがどこから出てくるのかわからないが、若い層から活気が出てくるようになんとか持っていきたい。

【秋山会長】

三郷区の保坂会長は人も地域も全て知り尽くしていて、その土地ならではの強さってすごいなと思いながらお付き合いさせていただいている。前へ前へといろいろな提案をされて、恐らく委員も若返らせて、人にお願いするという意識していらっしゃると思うが振興会を作られて、和田区では二水クラブが事業を受託しているが、振興会で高齢者を支える事業を受託して広めているという知恵もいただいた。

三郷区地域協議会が企画する「見てみて三郷」の写真展が11月8日、9日に三郷地区公民館であるというチラシをいただいたので、ぜひ見に行って三郷の力を感じ取ってきたい。

三郷区、和田区と分かれていても、恐らくみんな親戚付き合いをしていた地域なのだと思う。それが実は一番印象に残ったところである。これからもいいお付き合いをしていけたらと思う。

【泉委員】

参加できなくて大変申し訳ない。皆さんが知らないだけで、和田区にもいいところはいっぱいあって一生懸命やっている。ハイキングも公民館の文化祭もある。

前期の委員は30代、40代の若い人もいた。なぜ辞めたのかは分からないが、私に言わせるとバランスというか、お互いの協力関係がないからではないのか。若い人がいたとしても、年配の皆さんが協力してくれないとか、一緒に考えてくれないというあたりか。和田区はダメではなくて、その辺を互いにどうやって協力していくかを地域協議会で考えないと、高齢者は高齢者でよいところがあるし、若いから全部よいということではない。三郷で何かイベントをやる時、大方若者が責任者になる。例えば、消防部の部長とかがイベントの責任者になって三郷区のイベントをやる。和田区にはそういうのがない。若い人にお願いしたいといっても若い人から手を上げてくれない。それで年配者がやって分断してしまう。

P T Aも非協力的なので小学生も行事等にまず参加しない。委員の皆さんにはこ

の実態をよく理解していただいて、どこへ手を入れればいいのか、今回三郷で学んできたことを参考にして和田でもやっていただいて、世代を横断するというか、そういう考え方で活性化をしていかないといけない。先ほど、古川会長が言っていたが、子どもの参加が当てにならないというのは、PTAが動かない、学校の先生が動かない。動かないというか動いてはいけない。そこをどうやって持っていくかが難しい。

【秋山会長】

おっしゃるとおりだと思う。元気のある地域は、やはり、小学校、中学校も含めて子どもをうまく巻き込んで地域づくりをしていると思う。今、子どもを巻き込むのは難しくなっていると思うが、きっとどこかに切り口があるかと思う。

ほかにいかがか。

【阿部委員】

先ほど新規事業の提案があった。私たちは初めて聞いたので、ちょっと理解しないと自分の意見も言えないかなと思うが、今後これについてはどうなるのか。

【石黒係長】

今後の手続きについて事務局から説明させていただく。8月末で新規の事業について提案の受付を締め切った。9月末が継続事業の締め切りとなる。10月からは市の来年度予算要求に入る。市の予算と同様に内部の予算査定を経て補助金額を予算化し、順調にいけば来年の2月に来年度の当初予算案に計上され、最終的に市議会の3月議会での議決によって予算成立となる。4月に入って団体の皆さんから交付申請をいただいて、ようやく事業着手という流れになる。

【秋山会長】

予算が確定するのは3月で、6月のイベントだと時間があまりない。今日はまだ荒々の計画だったが、この事業概要をもう少し細かく詰めて、和田地区町内会長会への協力要請などいろいろな動きが出てくるのかと思ってお聞きしていた。

地域協議会としては、全体ではなく委員それぞれで応援いただける場合は応援いただきたい。

以上で、次第2 自主的な審議(2)三郷区地域協議会との合同研修会の振り返り

を終了する。

― 次第3 事務連絡 ―

【秋山会長】

次第3 事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和7年度 第4回地域協議会：10月15日（水）18：30から

第5回地域協議会：11月19日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

【秋山会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・全体をとおして質問を求める

【渡邊委員】

今回の会議の案内の中に、地域運営組織に関する連続セミナーの第1回の開催案内があった。それを見て申し込みはしたのだが、これは地域協議会委員に宛てたということになると、今後こういったセミナーとかには出席したほうがよいのか。

【秋山会長】

9月29日月曜日のRMOというセミナーか。私も申し込んだが、結構人気があってもう50名を超えるという。

【渡邊委員】

今日連絡したらまだ空きがあるとおっしゃっていた。全5回と書いてある。

【秋山会長】

5回シリーズである。皆さん、目に止められたか。

【渡邊委員】

そういう知識が無いのでセミナー等である程度のインプットをしていったほう

が委員としてよいのかと考えた。

【秋山会長】

三郷区は振興会という形で今いろいろ事業の予算として動いている。以前13区のほうで住民組織を立ち上げるお手伝いをしたことがあり、イメージ的にはそこと同じかなと思っているが、合併前上越市の15区にはそういう組織というのはある所もあるが、ない所が多いので、今回の連続講座の開催はもう少し自発的に動く実動部隊を作ってほしいという行政の狙いがあったのかと思った。

ぜひ皆さんも何か関心がある案内があったら、ここでまた呼びかけをしていただければと思う。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。